

自動車部品製造のアイコクアルファ（本社稲沢市祖父江町、樋田克史社長）は1日、荷物の移動作業を支援するハンドクレーン「ラクラクハンド」の新工場「祖父江ラクラクファクトリー」が稲沢市祖父江町に完成し、

たと発表した。投資額は約40億円。一宮工場（一宮市）から生産を移管する。5月18日に稼働する。新工場稼働で生産能力向上と供給体制を強化する。

敷地面積は約2万5千平方メートル。鉄骨2階建てで、延べ床面

稲沢市に新工場完成

アイコクアルファ、来月稼働

積は約8500平方メートル。一宮工場の老朽化に伴い新設・移管した。ラクラクハンドは物流や製造現場で作業者の負担を軽減できるため、需要が拡大している。新工場では専用昇降クレーンや自社開発の組立架台を活用して生産能力を高めるほか、開発、製造、営業機能を集約し、迅速な製品開発体制にする。また屋根全面に太陽光パネルを設置し、カーボンゼロファクトリーを目指す。



完成した「祖父江ラクラクファクトリー」

